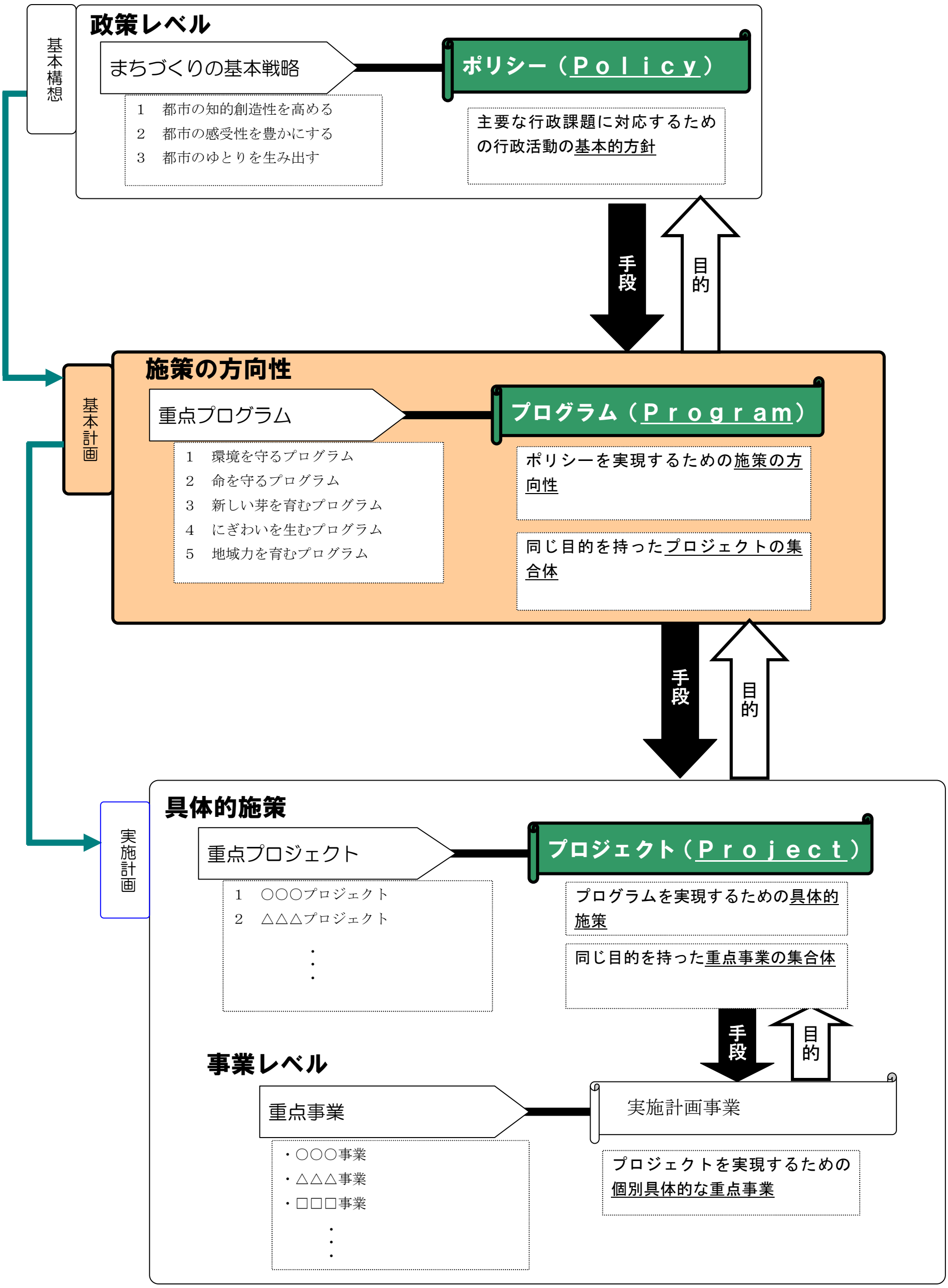
参考資料３

重点プログラムの位置付け